

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

年越して新たな日が始まり  
一に健康二に研鑽を

●宮古市 太田屋滋

常に見て目慣れる多くの白い物

雪にかなわぬ束になっても

●富谷市 佐藤英克

二年ぶり孫とお出掛けイブの夜

街の灯りに病忘れる

●戸田市 久米壽彦

昼下り郵便受けがコトリ鳴る

喪中のハガキこれで8枚目

●松戸市 秋元輝美

健康を祈願するため参拝し

紹興酒飲み笑顔となりぬ

●小金井市 飯田勝巳

コロナ禍で娘家族が帰郷せず

夫妻二人で静かな正月

●狛江市 根方一吉

玉砂利を踏みし詣でる肅々と

健康願う家族三代

●平塚市 田中博由

雪晴れの道転ばずに仕事場に

ゆつくり歩む夫の背中

●明石市 小田和子

厳寒に耐へ老体に鞭を打つ

暮らしも妻の支えありやこそ

●明石市 小田慶喜

爺の背に深山みやまおろしの雪が舞う

刈機エンジン寒寒と鳴く

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

荒縄を巻き上げ雪吊り天を衝く

●小山市 塚野 京

門松を立てて親方仁王立ち

●小山市 原田利江

フレイルの出前講座を寒中に

●本庄市 長谷川千鶴子

初雪や朝日に光る枝の先

●草加市 長谷部禎子

冬耕のどの指先も土乾く

●戸田市 篠崎志津子

山茶花に番いメジロの愛らしさ

●朝霞市 林 則雄

雪国のシルバーさんの白い息

●東京都葛飾区 東海洋一

忘るまじ粹な心を寒椿

●立川市 浅見 眞

気になりし雲の流れや初日の出

●武蔵村山市 原野晴光

縁側に老いの二人はちゃんちゃんこ

●塩尻市 大家協治

諏訪湖畔遠富士白し鴨眠る

●塩尻市 奥原光夫

枯れ山や色なき木々の枝模様

●塩尻市 小野正平